

福井県と(公社)福井県観光連盟は、9月12日(火)にキャッスルプラザ(名古屋市 中村区)において、福井観光商談会を開催した。

中京圏からのさらなる誘客を促進しようと、県内からホテルや旅館をはじめとした観光施設、市町観光担当者など47社・団体64名が参加し、中京圏の旅行会社やメディア19社33名に対し、それぞれの施設の魅力等をPRした。

中部縦貫自動車道・永平寺大野道路開通もあり中京圏旅行会社から本県への感心が高まり、名古屋で開催した「福井観光商談会」として、昨年実績を大きく超える参加社・団体数を記録した。

県からのプレゼンテーションでは、中部縦貫自動車道・永平寺大野道路開通、化石発掘体験センター(仮称)、大瀧神社一千三百年大祭等、旬の観光情報をPRした。

商談後には交流会を開催し、焼き鯖寿司や小鯛の笹漬け、日本酒等、本県の魅力ある食をPRした。

今後も、旅行会社へのフォローアップを積極的に行い、本県への旅行商品造成を確実なものにするとともに、中京圏での情報発信により、誘客拡大を図っていく。

<参考>

○参加者の声

「現地独自の新たな観光素材を知ることが出来たので、
今後の新展開に組み入れていきたい。」

「最新情報をもらい、福井県側の参加者の熱意も伝わってきて
大変有意義な商談会だった。」

《商談会の様子》

